

3類型	鉱工業品	通巻番号	3-23-163
地域資源名	東毛地域の織物製品	認定日	平成23年10月14日
地域	群馬県桐生市	所管省庁	経済産業省

事業名： 特許技術「フリル織」を活用した、高付加価値なフリル製品の事業化

会社名：イズハラ産業株式会社

所在地：群馬県桐生市広沢町2-3033-2

連絡先：TEL：0277-52-8787
FAX：0277-52-8795

HP：<http://izuharasangyo.com/>
<http://izuhara.net/>

事業概要(新たな活用の視点)

群馬県桐生市は、付加価値の高い繊維産地として繊維業界では高い評価を受けているものの、最終製品として一般消費者の目に触れる事が少ないため認知度が低く、桐生市を「全国有数の繊維産地」と捉えている人は少ないのが実情である。

本取組は、繊維産地桐生の技術を結集し、織りの工程の中でフリルを織り込むという特許技術「フリル織」の更なる高度化を図り、これまで市場にない、高付加価値なフリル製品の事業化を図ると共に、従来にない販売条件を導入して桐生地域の認知度向上も目指すものである。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

本技術は、縫製によりフリルを形成する従来の方法に比べ、大幅な工程・コストの削減が図れるほか、高品質のフリルを安定して形成することが可能である。また、既に特許化されており、競争力の高い技術である。

製品としては、従来のフリル製品と異なり、フォーマル用として使用できる程の上品さと優雅さを併せ持っており、新たな需要開拓も期待できる。

◆市場性

付加価値の高い商品を好むミセス層を中心に市場開拓を進める。消費者ニーズは多様化しており、オリジナリティーの高いおしゃれな商品を求めるニーズは高く、アパレルメーカー等は差別化できる商品を求める傾向にある。ミセス層が、おしゃれに着用できるフリル製品は、これまで市場に存在しておらず、市場ニーズに合致した製品である。

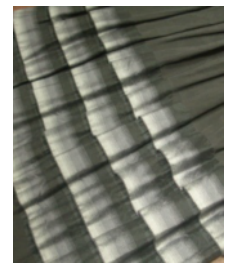
◆販路

既存取引ルートを有効活用し、アパレル・通販を中心に販路拡大を図るが、社名やブランド名、産地名等を記載した、当社指定のタグを付けることを取引条件とし、販売先と「対等」の立場で事業化を進める。

地域資源における関係事業者との連携

複合繊維産地である強みを生かし、染色整理、縫製、デザイン等、外注を必要とする作業の多くを地場の企業と連携し、地域に波及効果をもたらしながら、事業化を進めていく。

当社ブランド名や産地等を記載したタグを付けての商品化を通じて、「繊維産地桐生」の知名度向上に繋げるほか、「脱下請」の機運醸成を図り、産地の活力向上にも繋げていく。



製造・発売元
〇〇〇〇株式会社

【特許技術を活用したフリルスカートの試作品】

【商品販売時の指定タグ見本】